

# 二条大麦奨励品種‘はるさやか’の選定

## 1 情報・成果の内容

### (1) 背景・目的

鳥取県における二条大麦の現奨励品種である‘しゅんれい’は、収量・品質が安定している一方で、オオムギ縮萎病を引き起こすウイルスⅠ～Ⅴ型の内、Ⅲ型に罹病性である。本県でⅢ型の発生は確認されていないが、近県では発生が相次いでおり、抵抗性品種への切替が最も有効的な対策であることから、Ⅰ～Ⅴ型に抵抗性を有し、かつ栽培特性に優れた品種を選定する。

### (2) 品種‘はるさやか’の要約

‘はるさやか’は、オオムギ縮萎病Ⅰ～Ⅴ型に抵抗性を備えており、11月上旬播きの栽培特性は、成熟期は3日早く、穂数は並だが、千粒重は大きく、多収で、品質は並だが容積重は大きく、粒張りに優れる。

## 2 試験成果の概要

‘しゅんれい’と比較した‘はるさやか’の特性は以下のとおりである。

- (1) 出穂期は6日、成熟期は3日早い(表1)。
- (2) 稈長、穂長は並で、倒伏程度も並である(表1)。
- (3) 穂数は並だが、千粒重が大きく多収である(表1)。
- (4) 外観品質及び検査等級は並であるが、容積重が大きく粒張りに優れる(表1)。
- (5) タンパク質含有率は1%程度低いが、ビール麦の基準値内である(表1)。
- (6) 現地における栽培特性は、千粒重がやや小さいものの、その他の項目では、農業試験場内試験と類似した結果が得られ、穂数がわずかに多く多収で、品質は並である(表2)。
- (7) 現地産サンプルを用いた、実需の麦茶加工適性評価は並である(データなし)。
- (8) 2018～2019年のビール会社による製麦・醸造試験の結果に問題はなく、2020年にビール会社の契約対象品種となる「指定品種」に採用されている(データなし)。



(比)しゅんれい はるさやか



(比)しゅんれい はるさやか

図1. ‘はるさやか’の株及び穂標本(2021年)

表1. ‘はるさやか’の特性概要 (2018-2019年産を除く)

形質	品種名	はるさやか	しゅんれい
オオムギ縮萎縮病抵抗性		I～V	I, II, IV, V
出穂期	(月・日)	3.29	4.04
成熟期	(月・日)	5.19	5.22
稈長	(cm)	78	79
穂長	(cm)	5.1	5.0
穂数	(本/m <sup>2</sup> )	1019	1013
倒伏の多少	(0-5)	0.6	0.9
赤かび病	(0-5)	0.0	0.0
収量	(kg/a)	36.5	32.4
比率	(%)	113	100
容積重	(g/l)	709	694
千粒重	(g)	45.7	44.5
原麦粗蛋白質含量	(%)	9.6	10.2
外観品質	(1-6)	4.4	3.8
検査等級	(1-6)	2等～等外上	2等～等外上

注1) 調査場所: 鳥取市橋本 農業試験場

注2) 施肥(窒素量kg/10a): 10.0-3.2-2.4(基肥-穂肥 I-穂肥 II)

注3) オオムギ縮萎縮病の抵抗性は育成地情報

注4) 倒伏程度・赤かび病: 0-無、1-微、2-少、3-中、4-多、5-甚

注5) 収量・容積重・千粒重は粒厚2.5mm以上

注6) 原麦粗蛋白質含量: ビール麦の基準値9.0～12.0%(目標値10～11%)

注7) 外観品質: 1-上上、2-上下、3-中上、4-中中、5-中下、6-下

表2. ビール麦現地調査結果 (2021-2022年産, 倉吉市下古川)

品種名	供試年産	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏の多少 (0-5)	赤かび病 (0-5)	網斑病 (0-5)	収量 (kg/a)	同左対標準比率 (%)	容積重 (g/l)	千粒重 (g)	粗タンパク質含有率 (%)	検査等級
はるさやか	2021	4.02	5.18	81	5.3	548	0.0	0.0	3.0	41.8	124	716	47.5	9.6	2等
	2022	4.05	5.25	79	5.6	926	2.0	0.0	2.0	40.8	103	732	43.8	11.1	2等
	平均	4.03	5.21	80	5.5	737	1.0	0.0	2.5	41.3	113	724	45.6	10.3	2等
しゅんれい	2021	4.07	5.20	77	5.3	550	0.0	0.0	3.0	33.8	100	704	47.5	10.4	等外上
	2022	4.10	5.26	83	5.9	894	2.0	0.0	2.0	39.5	100	710	46.3	12.2	2等
	平均	4.08	5.23	80	5.6	722	1.0	0.0	2.5	36.6	100	707	46.9	11.3	2等～等外上

注1) 倒伏程度・赤かび病: 0-無、1-微、2-少、3-中、4-多、5-甚

注2) 外観品質: 1-上上、2-上下、3-中上、4-中中、5-中下、6-下

注3) 収量・容積重・千粒重は粒厚2.5mm以上

### 3 利用上の留意点

- (1) 本県における普及対象地帯は、県内中部の平坦地とする。
- (2) 育成地情報によると、‘はるさやか’の交配組み合わせは(母)‘はるしづく’×(父)‘筑系9713’であり、2023年2月現在は福岡県で奨励品種に採用されている。

### 4 試験担当者

作物研究室 研究員 橋本 健司  
 研究員 伊藤 蓮<sup>※1</sup>  
 主任研究員 山下 幸司<sup>※2</sup>  
 研究員 小椋 真実<sup>※3</sup>

<sup>※1</sup> 現 生産振興課 農林技師

<sup>※2</sup> 現 経営支援課 専技主幹

<sup>※3</sup> 現 西部総合事務所農林局 農林技師